

十月一日

月曜日

晴

實施ス

午前九時ヨリ將校教育對支那軍戰闘法ニ関シ學科ヲ

各隊ハ各々教育訓練予定ニ基キ行事ヲ實施ス本部ハ指

揮連絡ニ就テ教育ヲ實施ス

野砲兵中隊ニ神經衰弱症患者一名發生シ大坂陸軍病

院ニ入院ス

正午稍ニ過キ大坂灣ヲ拔錨出帆ス

午後一時上陸地桌ノ地圖ヲ各中隊ニ配布ス

午後二時ヨリ將校ヲ集メ上陸予想地桌附近ノ兵要地誌

ノ教育ヲ實施ス

本日ノ位置 大坂灣拔錨瀬戸内海ヲ航行中

人員 將校 五名

下士官兵二六名 計一七一名

馬匹

七二頭



十月二日

各隊毎ニ舟艇移乗ニ關スル訓練ヲ實施セシム

0821

火曜日
晴時々曇

一午前八時ヨリ將校教育對支那軍戰鬪法ニ關スル學科ヲ實施ス

一午前九時ヨリ本部下士官暗号掛ノ暗号教育ヲ實施ス

一午後二時輸送船ハ關門海峡ヲ通過西進ス

一午後七時三十分左記ヨリ命令ヲ下達ス

左記

大文丸輸送指揮官命令

一十一月廿明迄節ニ付送拜式ヲ行フ依テ各隊ハ左ノ通り心得ヘシ

一各隊ハ午前八時五十分迄ニ甲板ニ集合急集合所ニ

集合スヘシ(細部ニ關シハ現地ニ於テ指示ス)

2. 服裝ハ儀式ニ於ケル軍裝トシ北背裏ヲ除キ勲章徽

章全部佩用トス

一午後八時ヨリ將校教育上陸作戰ニ關スル學科ヲ實施ス

一午後十時三十分終了ス

一本日ノ位置 航行中

0822

十月三日
水曜日
曇

人員

將校 五名

下士官兵 二六名

計 三一名

馬匹

七二頭



午前八時三十分頃某灣ニ投錨定泊ス

午前九時全員甲板ニ集合シ明治節ヲ奉祝スル遙拜式ヲ挙行ス

遙拜式終了後大隊長ハ第十中隊全員ニ對シ副官ハ本部(大行李ヲ含ム)全員ニ對シ團結ニ就テ精神訓話ヲ實施ス

本日各隊ニ與ヘタル會報事項左ノ如シ

1. 入浴ハ船員ノ厚意ニヨリ船員浴場ヲ便宜使用シアルモノニ付船員ニ迷惑ヲ掛ケサル様注意ヲ要ス
特ニ夕食時限後ノ入浴ト遠慮スヘシ

2. 夕食時限後勤務員ノ外許可ナク茶室ニ出ルヲ禁ス

3. 船長ヨリ飲料水不足ノ憂アル旨申出アリ

爾今洗濯ノ爲飲料水ノ使用ヲ禁ス

一午後一時ヨリ約二時間上陸作戰ニ關スル將校教育ヲ實施ス

一午後一時三十分ヨリ二時間各中隊補助担架兵ノ教育ヲ實施ス

一本日ノ位置 某灣淀泊中

人員 將校 五名 計一キ一各

下士官兵 一六名

馬匹 七三頭



十月四日

木曜日

晴

一午前九時ヨリ輸送指揮官トシテ將校ノ學科ヲ實施ス
本日ヲ以テ上陸作戰訓練要領ノ教育ヲ終了ス

二午前十時秘密地圖配布ヲ兼テ連絡ノ爲ノ深津軍曹
ヲ福澤丸(第十一)第十二中隊機關銃ノ三ニ派遣シ同十
時三十分無事歸還ス

一午前十時半ヨリ副官ヲシテ本部傳令ニ對シ傳令並ニ内務ニ

0824

十月五日
金曜日

一 午前八時三十分頃 拔錨出帆ス	一 午後二時三十分各船輸送指揮官大文九ニ集合シ一四師作命 甲第二號其一步一八旅作命第四號同五號上陸ニ關スル 命令ヲ受領ス	一 午後八時各隊長ヨリ集メ旅團命令ノ傳達及之ニ基ク所要 ノ注意ヲ與フ	一 本日ノ位置 某灣淀泊 大文九	人員 將校 五名	下士官兵 一六名	馬匹 七二頭	一 午前八時三十分頃 拔錨出帆ス	一 午前十時ヨリ輸送指揮官トシテ各隊長ヲ集メ作戰開始
------------------	--	---------------------------------------	------------------	----------	----------	--------	------------------	----------------------------

0825

累時小雨

スル指示ヲ爲シ各々研究ヲイサシム

一 午前主計少尉ヲシテ旅團命令ニ基キ携帶糧秣ヲ分

配セシム

一 午後二時ヨリ本部下士官ニ命令通報々告ノ記載及傳達

ニ就テ教育ス

一 午後八時各隊長ヲ集メ別紙信輸作命第四號上陸關スル

輸送指揮官命令ヲ下達ス

一 船ハ燈火管制ヲ行ヒ警戒航行ヲナス午後十時ヨリ燈火管

制下ニ於テ警戒備演習ヲ實施ス十時五十分終了

一 本日位置

航行中

人員

將校

五名

下士官兵

二名

計一七名

馬匹

七頭



信輸作命第四號

上陸關スル大文丸輸送指揮官命令

十月五日午後八時
於大文丸

一 本船乗組各部隊ハ十一月七日金山衛城西方地域ニ上陸セシム

ニ各隊八十月六日中ニ準備ヲ完了スヘシ

上陸ニ関シテハ別紙計画ニ依リ實施スヘシ

三上陸後ノ集結並ニ任務次ノ如シ

部隊	集結位置	警戒担任箇所	摘 要
第九中隊	吳宅附近	金山衛城南西門	
第十中隊	魏宅附近	王家—李家方面	一小隊ヲ張家東北方部落附近ニ出シ警戒セシム
第十一中隊	西倉附近	李家—孫村方面 第二大隊トノ連絡路	一小隊ヲ西倉西方約六中隊部落附近ニ出シ警戒セシム
第十二中隊	陸宅附近	金山衛城南門南方方面	兵カ一分隊
第十三中隊	沈宅附近		
第十四中隊	陸宅西方部落		第九中隊ヨリ聯絡ヲ保持スルモ 一小隊ヨリ一小銃三分隊 報告ハ日 増進ニ依リ隊司令 部ニ提出スルモノトス
水路偵察隊			

其他ノ部隊ハ元所屬ニ復歸スヘシ

四第二大隊トノ搜索警戒區域ノ境界ハ國家—陸庄—沈家浜

ヲ連テル線ト予定ス

五大小行李ハ規定積載品ヲ大隊本部ニ集結後前進準備ヲナス

0827

ヘシ予ハ本部上陸ト同時ニ上陸シ爾後沈宅南方無名部落 ^五ニ至リ第三大隊本部ニ在リ	各隊ハ上陸直後命令受領者ヲ差出スヘシ	輸送指揮官 信澤歩兵少佐	下達法 乗船各隊長ヲ集メ印刷配布ス	大文丸上陸計画	一、乙地区東部上陸地区ニ於テ上陸ス	二、揚陸作業隊ト協定シタル後各掛ハ夫々作業ヲ開始スヘシ	三、服装ハ軍装ヲ整ヘ揚陸スルモノトス	四、第一回揚陸部隊ノ甲板進出時間其他細部ハ各勤務員ヲシ テ指示セシム	五、揚陸順序	イ、舟艇作業勤務員 ロ、警戒部隊 ハ、偵察部隊 ニ、旅團司令部 ホ、大隊本部 ヘ、ガ、イ、ロ、ハ、ト馬匹（兩ハツチ使用） ニ、資材糧秣其他
--	---------------------------	---------------------	--------------------------	----------------	--------------------------	------------------------------------	---------------------------	--	---------------	--

0828

六、船上警戒勤務員ノ撤去ニ就テハ追ッテ指示ス

七、鏡中尉ハ輸送指揮官上陸後ハ代理トシテ揚陸作業ヲ指導スヘシ

八、勤務割出表ハ別紙ニ通リトス

九、陸上放護所ヲ揚陸兵ニ置き人員揚陸後ハ本部ノ位置ニ置き

十、其他ハ旅團命令ニ據ルモノトス

0829

揚陸ノ爲ノ勤務員差出表

備考	材料		馬匹		人員		區
	舟艇	船内	舟艇	船内	一名	一名	分
一、ハ、前部アルモントスニ本表ノ外各隊ハ上陸地奥ノ監視並ニ上陸部隊誘導ニ下士兵一ノ舟艇勤務員ト 共ニ揚陸セシム 三、軍艦ハ上陸計画ニ示スモノハ外揚陸作業開始船内放護ノ処置ヲ講スルモノトス	一名		一名		一名		將校
			中隊		第9中隊		部差隊出
		前部船口 後部船口	舟艇毎ニ 一名	前部船口 後部船口	後部甲板 一名	前部甲板 一名	下士官
		第十中隊	馬匹ヨリ所要ノ 人員	師団通信 五行李 第三機関銃 野砲兵中隊	第九中隊	第四中隊	差出部隊
	舟艇毎ニ四名 9410RNGヨリ各一名	前部船口 後部船口	馬匹保持兵一頭毎ニ 一名	前部船口 後部船口	後部甲板 一名	前部甲板 一名	兵
	各隊ヨリ所要ノ 人員	B8 DTL 9104 MG 五 RNG 各隊ヨリ各 二名 Aヨリ四名	馬匹ヨリ有スル各隊	五行李 野砲兵中隊	第九中隊	第四中隊	差出部隊

十月六日

土曜日

曇

ナシ

一昨夕来風強ク波浪稍高キモ全員士氣極メテ旺盛ナリ患者
ナシ
一午前九時ヨリ歩兵中隊長村集メ中隊ノ攻撃防禦ニ就キ操
典草案ノ學科ヲ實施ス
一零時五十分ハラジオニ依リ我々杭州湾上陸部隊ハ五日拂曉
奇襲的上陸ヲ敢行シ所在ノ敵ヲ撃破シテ大成功ヲ収メ其ノ
一部ハ六日朝遠ク松江附近黃浦江北岸ヲ占領セルコト
スヲ得
一本日ノ會報事項左ノ如シ

會報

一輸送船ハ本夕ヨリ最モ警戒ヲ要スル地域ニ進入スルヲ以テ
各隊ハ警戒ニ遺憾ナキヲ期スヘシ
特ニ燈火管制ニ關シ左ノ件注意ヲ要ス
一懷中電燈ヲ素ニ使用セサルコト
止ムヲ得ス使用スル場合ニ於テハ覆ヲ附シ且ツ目的物ノミ
ヲ照ス如ク使用スルコト

0831

十月七日
日曜日

2. 船中其他透光覆ヲ完全ニスルコト	3. 管制用、電球ヲ系ニ附ケ積込ヘサルコト	(四) 本夕酒ヲ下給ス	杭州湾上陸部隊ノ戦勝ヲ祝スル意味、モノニ付属念	(三) 下給品ノ件	本部及各隊ハ上陸準備ノ爲兵器弹药其他材料ノ整理ヲ實施ス	午後七時ヨリ本部下士官ヲ集メ命令ノ實行ノ責任感ニ就テ教育ス	本日ノ位置	航行中	人員	將校 五名 下士官兵 一七名 計 二二名	馬匹 七二頭	本部及各隊ハ夫々上陸ニ関スル諸準備ヲ爲シ午前中ニテ概テ準備ヲ完了セリ
---------------------------	------------------------------	--------------------	--------------------------------	------------------	------------------------------------	--------------------------------------	--------------	------------	-----------	-------------------------------------	---------------	---

0832

風雨強シ

十月八日
月曜日

一 午前十時ヨリ揚陸掛將校ヲ集メ勤務要領ニ就テ指示ス
一 午後二時會報ニ於テ上陸準備ニ遺憾ナカラシムル爲上陸
ニ関スル命令事項勤務員ノ差出シ金櫃其他重要行李
ノ取扱彈藥ノ分配及取扱携帶口糧等ノ携行法患者ノ
狀況等ニ就テ細部ノ注意ヲ與フ

一 午後二時三十分ヨリ佐藤主計少尉ヲシテ各自貳四ノ死軍
票ヲ分配セシム

一 午後三時十分予定ノ泊地ニ(金山衛城西側岸沖)進入投錨ス
一 前夜來風雨激シク波高シタ刻トナリ稍々靜穩トナル

一 本日ノ位置 杭州灣(金山衛城西側岸)

人員 將校 五名 計 十一名

下士官兵 一十六名

馬匹 七二頭



一 各隊毎ニ左記事項ニ就テ教育ヲ實施セシム

左記

0833

晴

- 一、内務上、特ニ留意スヘキ事項
 - 二、操典、戦闘間兵ノ守ルヘキ事項
 - 三、陣中勤務ノ歩哨ノ動作行軍宿營間ノ諸注意及警戒ニ関スル事項
 - 四、危害予防上特ニ注意スヘキ件
 - 1、手榴彈ニ依ル危害ノ予防
 - 2、其他、彈藥ヲ弄シ傷害ヲ蒙リシ例
 - 3、戦利品、戰場ニ遺棄シアル彈藥類ヲ弄シ不慮ノ危害ヲ蒙ラサル注意
 - 4、地雷ニ依ル危険
 - 5、小銃輕機槍彈筒ノ暴發、絶對予防
 - 6、諸注意ヲ無視シテ起ル不慮ノ危害
 - 7、同志射ノ危害
- ハ午後一時三十分奥部隊本部ヨリ左記ニ関スル注意事項ヲ受ク

左記

0834

一 手榴彈及擲彈筒彈藥ニシテ不慮ノ危害ヲ防ノ爲

其ノ取扱法ヲ熟知アルヲ要ス

二 戦場ニ散乱スル彼我各種銃砲其他ノ彈藥類ヲ棄シ不

慮ノ復害ヲ蒙ラサルノ注意

三 暴發ヲ防ノ徹底

四 拳銃軍刀ニ依ル傷害發生ニ對スル注意

午後二時左記日日命令及會報事項ヲ下達ス

左記

大文丸輸送指揮官日日命令 十月八日午後二時

一 左記ノ通り諸勤務ニ服務スヘシ

左記

日次	区分	日直將校	巡察將校	巡察下士官	衛兵	見張
十月九日	RMG	真下少尉	第九中隊	正機関銃	第四中隊	第十中隊
十月十日	SA	木村少尉	第十中隊	第九中隊	第十中隊	第九中隊

會報事項

一 別紙奥部隊本部ヨリノ危害ヲ防ニ關スル注意事項ヲ配布

ス危害予防ニ就テハ各隊ハ本日夫々教育ヲ實施セラレアル
筈ナルモ更ニ之ヲ徹底ヲ期スヘシ

(二) 人馬ノ景況ヲ左記ニ依リ提出スヘシ

左記

衛戍地出發ヨリ大阪港乗船迄及大阪港乗船後ニ至分
シ入院患者ハ入院箇所及其処置ヲ明示スルコト

(上陸直後提出)

(三) 本待期間ヲ利用シ各隊ハ戦闘、行軍、宿營、散營、連
絡、内務衛生上ノ注意等ニ関シ教育ニ努ムルヲ要ス

(四) 明九日ヨリ船内日課時限中曰々莫呼、消燈ヲ除テ遂次
一時間ヲ操下ク

一、本日ノ位置 金山衛城附近海岸約三料ニ淀泊中

人員

將校

五名

計十三名

下士官兵

一十二名

馬匹

七二頭



十月九日

火曜日

晴

一 午前九時ヨリ大隊長ハ歩兵小隊長ニ對シ將校午候及
村落防禦ニ就キ教育ヲ實施シ十一時四十分終了ス
二 午前九時ヨリ副官ハ本部下士官ニ對シ左記事項ニ就
キ教育ヲ實施シ十一時終了ス

左記

1. 命令、通報、報告、傳達

2. 行軍、駐軍、警戒

3. 聯隊—大隊—中隊間、連絡要領

一 午後一時ヨリ二時三十分ニ至ル間本部傳令ハ傳令ニ關スル
學科及連絡演習ヲ實施ス

二 午後六時三十分頃揚陸作業隊ヨリ本夜半ヨリ揚陸ヲ
開始スヘキ通報アリ確實ナル命令ナキモ何時ニモ開始シ
得ヘキ準備ヲ整ヘ取敢ヘス行厨ヲ準備ス

三 午後十時大文丸揚陸作業担任独立工兵第六聯隊第三
大隊柴田小隊長來船小隊長ト揚陸關スル打合せ中淀泊場
司令部ヨリ工兵小隊長ニ對スル作業ヲ中止スヘキ電命

0837



部隊		現任總員		減		增		定員		現任員	
三隊	大隊	三隊	大隊	三隊	大隊	三隊	大隊	三隊	大隊	三隊	大隊
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一
十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二
合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八

昭和十二年十一月十三日現在 第三大隊

馬 鹿

大隊部員合計

三 五 八

十月十日

水曜

晴

金山嶺

上陸

位置

河鉄口嶺

大行李

上陸地

午前十時揚陸作業隊來船揚陸開始打合せヲシタル後
直ニ揚陸ヲ準備ス

信輸作命第五号

輸送指揮官命令

十月十日午前十時
於大文丸

一上陸計画變更ニヨリ信輸作命第四号ヲ左ノ通り訂正ス

(1) 上陸地ハ金山嶺鎮トス

(2) 上陸後、各隊ノ任務ハ上陸後改メテ指示ス

(3) 砲兵隊ハ人馬共殘置ス

二上陸順序左ノ如シ

上陸地奥勤務員警戒部隊 BPO 9104 MG RMG DTL A馬

區材料馬匹揚陸順序 MG本部大行李トス

三糧秣ハ携帶口糧、外辦當ニ食ヲ携行スヘシ

四勤務員ハ直ニ甲板ニ出シ主任者、區處ヲ以テ揚陸

ヲ準備スヘシ

五余ハ警ヲ現在地ニテ大隊本部ト共ニ乘陸ス

輸送指揮官 信澤少佐

0840

下達法令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

一午前十一時五十分揚陸作業ヲ開始ス

一正午歩一三八旅作命第六号上陸ニ関スル旅團命令ヲ受領ス

一午後三時三十分大文丸乗船部隊人員ハ上陸ヲ終了シ引續キ馬匹鞍料ヲ揚陸ス

一午後四時深津軍曹(兵一八)金糸娘橋聯隊本部ト一連絡及金山衛城方面ニ上陸セルハ一連絡ヲ棄テ出發ス

一午後三時頃左記大隊命令ヲ下達シ各々偵察セシム

大隊命令

十二月十日午後一時十五分
於金山衛鎮海岸道上

一王宅附近ニ位置シ

第十一中隊ハ海岸道ヲ東北方ニ對シ警戒スヘシ

一第十中隊ハ河缺口鎮西北部ニ位置シ一小部隊ヲ北方

約三百米ニ去レ山陽鎮方向ニ對シ警戒スヘシ

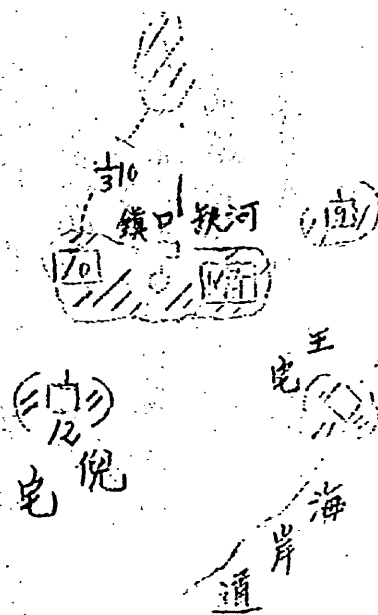
一第九中隊ハ張宅附近ニ位置シ吳宅方向ニ對シ警戒スヘシ

スヘシ

一四MG河缺口東側附近ニ第十一中隊ハ倪宅附近ニ位置スヘシ

0841

五大隊本部ハ河缺口鎮ニ位置スヘシ
六余ハ當分現在地ニアリ



午後四時荷物揚陸監視ノ各隊ヨリ下士一兵一〇(廿ハ下一兵三)
ヲ差出サンハ

一第11第12中隊來着大隊指揮下ニ服シ午後五時大隊ニ集結
ヲ終レ

午後五時二十分頃左記命令ヲ下達ス

大隊命令

十月十日午後五時
於金山嶗嶺海岸道上

一、各隊ハ人員ヲ査檢シテ後作命通リ出發各隊毎ニ

警戒スヘシ

二船内勤務者ハ荷物係ヨリ誘導スヘシ

三給養ニ就テハ明日示ス

四余ハ當分現在地ニ有リ雨後河缺口鎮大隊本部ニ至ル
明十日午後八時命令受領者ヲ差出スヘシ

下達法命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

一日没前馬匹ノ揚陸ヲ終了セルモ材料ノ揚陸進捗セス

一材料揚陸作業人員ヲ發シ大隊本部ハ午後七時河缺口
鎮ニ至リ露營ス

一敗殘兵ニ對スル注意各區分ニ從ヒ揚陸完了時刻ノ報告ニ
關スル旅團會報受領

本日現員 將校五 下士官兵一二五 計一三〇 (軍屬ヲ含ム)

(内深津軍曹兵一 金絲娘橋ニアリ)

馬匹

七三頭



十月十日 午前三時三十分ヨリ一時中止セル材料ノ揚陸ヲ開始ス

木曜日 秋料、揚陸ニ就テ、廣瀬伍長終夜現地ニテ、良ク奮勵ス

曇時々晴 大隊會報 (午前八時)

河鉄口鎮ヲ

出發シ金糸

娘橋ニ至ル

位置

金糸娘橋

一本十一日午前十一時命令受領者ヲ差出スヘシ

其ノ際人馬景況ヲ提出ノコト

一午前十一時煙草ヲ分配スルニ付受領者ヲ集積所ニ差出ノコト

一給養ハ現地ニテ調辦セルモノヲ使用ノコト

細部ハ佐藤主計少尉ヲシテ指示セシム

一午前九時中島伍長上陸地矣旅團司令部ニ命令受領

一午前十二時十分深津軍曹金糸娘橋聯隊及師團參謀ハ連絡シ歸還ス

同時左記命令通報ヲ受領シ來ル

一宇垣參謀ヨリ大隊長宛

(一) 師團ハ作命甲第八号ノ行動ヲ中止セシメ、新ニ海岸方向ヨリ平湖一嘉興方面ニ轉進ヲ命セラル左ノ主旨ニ基キ貴大隊ハ速ニ☆ト連絡スヘシ

☆八軍司令部(李宅)ニ命令受領シ至レル等

(二) 白沙灣附近上陸部隊ハ師團ニ於テ原隊復的ヲ中止セシメアリ

(三) ☆ト西聯隊ヨリ命令受領者ヲ師團參謀ノ處ニ至スルモノト
ニ第二中隊長ヨリノ平林中尉ヨリ通報

(一) 目下上陸セルハ第二第三(小欠)及^{1/2}附ノミ

(二) 聯隊本部R1A中隊其他本日上陸ノ事ナルモ確定シテラス
一午前十時ニ分頭旅團司令部ニ於テ左記命令其他ヲ受領ス

一師二四作命甲第八号

一歩三八旅作命第八号旅團命令

輸送ノ爲臨時旅團長ノ指揮下ニ入ル各隊ハ現所屬
ニ複販ノ件

一會報事項

一午後四時命令受領者ニ左ノ件

一師團會報

1. 給養ニ關スル注意

2. 警戒ニ對スル注意

3. 隊醫扱ハ全部携行ノ件

4. 大行李、集結地ニ關スル件

一午後三時頃左記命令ヲ受領ス

一歩一三八旅作命第九号

十一月十日午後二時四十分
於金山嶺鎮

金絲娘橋北側ニ集結ニ關スル旅團命令

本命令ニヨリ行動ニ聯隊長ノ指揮下ニアルコトヲ命セラル

一二四師通第三号

第百十四師團情報記録

同追加

一午後二時十分材料全部、揚陸ヲ終了ス

揚陸ノター人馬異状ナン材料沸水車一不明(兵站連絡線邊)

一信作命第五号下達

大隊命令

十一月十日午後三時三十分
於河鉄口鎮

一大隊ハ金山嶺鎮ニ兵力ヲ集結シ爾後海岸ヲ全

絲娘橋ニ前進シ同地ニ於テ爾後、ニ前進ヲ準備セントス
ニ各隊ハ直ニ出發準備ヲ整ヘ午後六時迄ニ建制順序
ニ上陸地矣西端附近ヲ先頭ニ集合スヘシ（現地ニ於テ副官
ヲシテ指示センム）

三糧秣ハ明朝ノ分ヲ準備攜行スヘシ

四大行李ハ部隊出發後騎兵大行李長ノ區所ニ依リ
行動スヘシ

五余ハ午後五時出發爾後上陸地矣ニ移動ス

大隊長 信澤少佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記センム

一午後六時三十分部隊ハ金山嶺鎮海岸道路ニ集結出發準備ヲ完了セルモ材料ノ積載（殊ニ大行李積載量ニ對シ著シク積材物超過）ニ時間ヲ要シ午後七時同地ヲ出發ス
二十月十日午後七時三十分白沙灣ニ於テ深津軍曹左記要旨命令ヲ受領ス

歩二五作命 第六号

歩兵第二五聯隊命令

十一月十一日午後七時三十分
於白沙灣聯隊本部

- 一 旅團、金絲娘橋北側ニ兵ヲ集結シ直後、西進ヲ準備ス
- 二 聯隊ハ金絲娘橋―新倉鎮道以南地区ヲ警戒ス
- 三 第三大隊長ハ第四中隊聯隊機關銃一部ヲ併セ指揮シ金絲娘橋中央丁字路西北側ニ兵力ヲ集結シ新倉鎮及西馬橋―新倉鎮以南ノ成ルヘク多ク進路ヲ偵察スルヲ共ニ主トシテ該方向警戒スヘシ
- 四 喜福丸乗船諸部隊ハ極力揚陸作業ヲ續行ス
- 五 余ハ白沙灣聯隊本部ニアリ

一行軍中金山衛城ニテ各隊ヨリ設営者先行セシム

本部齊藤伍長ノ以下五名

一 午後十時四十五分金絲娘橋ニ到着ス

沸水車其他材料運搬ニ任セタルモノ等若干ノ未追及者アリ

露營命令

十一月十一日午前一時
於金絲娘橋

一大隊ハ一ヶ所

ヲ含ム一現在地ニ露營セントス

0848

二各隊ハ銃管者ヲ誘導シヨリ露軍スベシ
三露軍勤務者左ノ如シ

左記

1 露軍日直將校

内山中尉

2 巡察 將校

第九中隊

3 露軍衛兵 小銃一分隊 九中隊西方 十中隊北方 十一中隊後方

十中隊

四 露軍材料ハ主計經理ニ依リテ準備中ナルヲ以テ準備完了後交
附人 但シ材料ハ現地調辦ナルヲ以テ不充ナルベシ依テ各隊ハ努
メテ収束スヘシ

五 戰備ノ度ハ背囊ヲ下シ全員假眠ヲ許ス

六 糧秣ハ携行糧秣ニシヨルベシ

七 本部ハ露軍地南側ニアリ

露軍司令部

信澤少佐

下達法

各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

0850

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

信澤少佐注意

一火災予備ヲ戒ムヘシ

二携行品紛失ヲ留意シ各隊ハ特ニ戦斗初期ニ於ケル

軍ノ目的ヲ徹底セシメルコト

一到着後直チニ副官ヲシテ祿團ニ書記ヲシテ朕隊ニ連絡

セシム

本日現在員將校五 下士官兵二五 計一三三

馬 匹

七二頭



十一月十日

金曜日

曇雨

金糸娘橋

出奔街前

鎮ニ至ル

位置

一午前七時三十分左記命令令會報ヲ受領ス

一一四作命甲第十號 十一月十日午後十時
於海月庵中團司令部

一第百十四中團命令

中團及各隊ノ企圖並ニ任務

二師團會報

會報ニ基キ各隊携行ノ毛布ヲ集積シ金糸娘橋ニ残置

ス

0851

衛前鎮

一午前七時三十分金糸娘橋中央丁字路西側ニ於テ左記命令

ヲ下達ス

信澤作命第七號

信澤部隊命令

十一月十日午前七時三十分
於金糸娘橋中央丁字路西側

一敵情及友軍諸隊、行動ハ上司ノ命令、通リトス

二大隊八午前七時三十分迄ニ露営ヲ撤收セシトス

三第十一中隊淺川少尉ハ一小隊ヲ以テ大平橋附近ヨリ秀平

橋方面ニ対スル進出路ヲ偵察スルト共ニ一部ハ約半小隊ヲ

以テ在大平橋附近後備山砲兵第二中隊ノ掩護ニ任ズルヘシ

四十八午前七時五十分金糸娘橋中央丁字路ニ在リ

大隊長

信澤 少佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

一午前八時五十分左記命令ヲ受ク(金糸娘橋中央丁字路)

歩二五作命第七號

歩兵第百十五聯隊命令

十一月十二日午前八時五十分
於金糸娘橋中央丁字路

0852

一敵情並ニ友軍ノ狀況ハ旅団命令第士號ノ如シ

ニ聯隊ハ暫ク現在ノ態勢ニ在リテ爾後ノ行動ヲ準備スヘシ

三聯隊集結地ノ警戒其他ニ関シテハ第三大隊長ニ処スヘシ

四第三中隊渡辺中隊ハ第三大隊ヨリ出ル軍旗中隊ニ交代シ交

代後直ニ原所屬ニ復歸スヘシ

五給與ハ大行李糧秣ニヨルヘシ其ノ補充ハ此福丸上陸糧秣

ヲ以テ補充ス

即時各隊ハ白砂湾ニ差出スヘシ

六余ハ暫ク現在地ニ在リ

聯隊長

矢ヶ崎中佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

一午前九時金糸銀橋ニ於テ左記命令ヲ下達ス

大隊命令

精金糸銀橋前九時

一敵情及友軍ノ狀況略ス

ニ大隊ハ現在ノ態勢ヲ以テ次ノ前進ヲ準備セントス

0853

三各隊ハ防空ヲ顧慮シ現在ノ關係ヲ位置ノ儘兩側ニ疎

開シ休憩セシムヘシ

四第十中隊ハ軍機中隊トス旅團司令部ト聯隊本部トヲ警戒スヘシ

五第軍隊ハ防空監視哨並ニ附近ノ警戒ヲ担任スヘシ

六旅團司令部大隊本部ハ旧大隊本部ノ処トス

七糧秣ハ携行糧秣ヲ使用シ明日中食迄ヲ午後六時迄ニ

準備スヘシ

分配ハ經理室ニ於テ行ヒ受領者ヲ出スヘシ

第三大隊長

信澤 少佐

一午前十時着藤伍長下田上等兵聯隊本部ヨリ地圖ヲ受領シ
來ル

一午前十時三十分金糸銀橋中央丁字路西側ニ於テ左記地圖ヲ
配布ス

1 上海杭州 2 南京杭州 3 上海近傍 4 杭州近傍

一午後一時三十分左記命令ヲ受ク

歩三八旅作命第十號

歩兵第百三十八旅團命令

十月十日後一時三十分於金糸娘橋

一午後一時三十分金糸娘橋ニ於テ左記要旨ヲ受ク

第三大隊長殿

一五聯隊長

一旅團ハ速ニ金糸娘橋北側ニ兵力ヲ集結シ直後ノ西進ヲ準備ス

喜福丸ノ乗船部隊ハ夜徹宵揚陸上作業ニ従事ス

二聯隊ハ金糸娘橋中央丁字路西北側ニ兵力ヲ集結シ次後ノ前進ヲ準備ス

三貴官ハ喜福丸乗船部隊揚陸完了(明十日後午前、予定)

迄ニ既上陸部隊(第三大隊ト第四中隊並ニ一部)ヲ指揮

シ金糸娘橋中央丁字路西北側ニ兵力ヲ集結シ旅團長、

指揮ヲ受ケシムヘシ

凡ハ目下揚陸中

イトノ連絡ハ未カラス

一午後一時三十分金糸銀橋ニ於テ左記要旨命令下達ス

大隊命令

十月十日午後一時三十分
於金糸銀橋

一各隊八午後四時現在地ヨリ急奔シ得ル如ク準備ヲ完了スヘシ

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

一午後二時金糸銀橋ニ於テ左記命令ヲ下達ス

信作命令第九號

大隊命令

十月十日午後二時於金糸銀橋

一聯隊八午後四時現在地ヨリ急奔衛前鎮ニ向ヒ前進ス

二大隊八炊焚ヲ終リ同時迄ニ現在地ヨリ急奔準備完了スヘシ

行軍序列ハ同地現地ニ於テ指示ス

三第十三中隊ヨリ大行李監視トシテ小銃一分隊ヲ現在地

ニ残置シ大行李ト連絡スヘシ

四浅川小隊ハ即時撤退セシムヘシ衛前鎮ニテ復歸セシム

ルヲ可トセン

五大行李ハ現在地ニ駐リ森藤參謀ノ指示ニ依ルヘシ

0856

六諸警戒八午後四時撤去スヘシ

七千八現在地ニ在リ午後四時金糸銀橋中央ニ在リ

大隊長

信澤 小佐

下達法

要突ヲ予メ口達傳達シタル後命令受領者ヲ集メ口達
筆記セシム

一午後二時十五分金糸銀橋ニ於テ記命令ヲ受ク

聯隊命令

十時十五分 於金糸銀橋

一聯隊八午後四時現在地衛前鎮附近ニ前進スルヲ定

二各隊八炊焚ヲ終リ現在地ニ於テ同時刻迄ニ急準備

ヲ完了スヘシ

三浅川小隊八即時撤退セシムヘシ

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

一午後三時十五分金糸銀橋ニ於テ左記命令ヲ受ク

歩二五作命第八号

聯隊命令

十一時十五分

於金糸銀橋

一敵伏並ニ友軍ノ状況ニ一四作命第十一ノ如シ

北光九八軍命令ニヨリ上海ニ廻航セリ

北福九八上陸八明日中ニ完了ノ予定

旅団八午後四時現在地出發工兵小隊第五〇聯隊第二五聯隊ノ

順序ニ衛前鎮ニ向ヒ前進ス歩第一五〇聯隊ヨリ部下鎮ニ約一中隊ヲ

配置セシメラル筈

二聯隊八午後四時現在地出發歩兵第一五〇聯隊ニ續行シ衛前鎮ニ向ヒ

前進セシム

三第四中隊ハ左側交隊ト交代シ揚家舎——曹家溝ヲ占領シ師団ノ左

側ヲ援護シ且砲兵隊ノ直援セシム

四次余ノ諸隊ハ左ノ順序ニ三五〇聯隊ニ續行スヘシ

R本部 五中隊(3中隊) 1MG 2中隊ヲトス

五山本少佐ハ第二中隊ノ一小隊通信班聯隊砲中隊聯隊本部大小

行李ヲ指揮シ揚陸作業ヲ續行シ逐次聯隊主力ニ追急スヘシ

六大行李ハ現在地附近ニ残置スルモトス此レヲ援後ノ爲メ第三大隊

ヨリ一分隊ヲ残置シ師団森藤參謀ノ指揮ヲ受ケシムヘシ

七、後備山砲兵第二中隊、掩護隊ハ即刻歸還スヘシ

八、予ハ暫ク現在地ニ在リ午後四時聯隊ノ先頭ヲ前進ス

衛前鎮到着後直ニ命令受領者ヲ出スベシ

聯隊長

矢ヶ崎中佐

一、午後四時三十分金糸娘橋出發衛前鎮ニ向ヒ前進ス

出發後、金糸娘橋及途中ニ残置シタルモノヲ如シ

一、大行李 長松軍曹以下 人五名 馬四頭 車輛材料全部

外ニ監視第十二中隊ノ一分隊

二、毛布監視 傳令清水上等兵外各隊各一名宛

三、金櫃護衛 中島上等兵以下四名

一、道路根ヲ惡シ且泥濘ニシテ行進渋滞シ午後七時三十分徒歩部隊ノ先頭

ヲ以テ衛前鎮ニ到着シ左記大隊命令ヲ下達シ露營ス

信作命第十號

大隊命令

一、敵狀ハ略ス

十一月十五日午後四時五分
於 衛前鎮

二、大隊(第三中隊聯隊機關銃步兵砲ヲ含ム)ハ現在ノ位置ニ夜ヲ徹セントス

三第九第十第三機關銃 步兵砲 ハクリーノ右側

第十第十中隊ハ左側ヲ使用スヘシ

但シ第三中隊ハ各隊ノ東端トス

四北側第九中隊 南側第十中隊 東側第三中隊各隊警備

ニ任スヘシ

細部ニ付イテハ現地ニ就キ副官ヲシテ中隊長ニ指示セシム

五一五ヲ聯隊トノ警戒ノ境界ハ旅團司令部ヲ含マサル以

東トス

六戰備ノ度ハ追テ示ス

七余ハ聯隊本部隣家ニ在リ

大隊長

信澤 少佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

一午後八時五分左記要旨ノ命令ヲ受領ス

聯隊命令

十月十日午後八時五分
於衛前鎮

一各隊ハ直接警戒ヲ行フノ外前哨ノ要領ニ依リ外方ニ対シ

0859

警戒町行々

差支

特ニ各隊ノ警戒線ニ前後ニ間隙ヲ生セシメサル如ク連絡ヲ緊密ニスルヲ要ス

ニ戦備ノ度ハ特ニ嚴ニスルヲ要ス(装具ヲ附シ直ニ運動シ得ル如ク)
三給養ハ携行糧秣ニヨルヘシ

联隊長 矢ヶ嶽中佐

注意事項

1. 師團司令部ハ新倉鎮ニ在リ

2. 類焼及防火並ニ火災ノタメ落下物ニヨル危害ヲ防ニ注意スルコト

3. 新倉鎮ヨリ命令受領ノ上帰還スル將校以下数名ノ者在ニ注意ノ事(増子中尉)

四敗残兵相當横行シアルニ付彼我ノ識別ニ注意シ同志射乱ニ陷ラサルコト

五焚火ハ目標トナリヤスキヲ以テ特ニ注意スヘシ

各隊ノ命令受領者ハ土時联隊本部ニ命令受領ニ來ル

0860

コト

下達法

命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

一十月十二日午後九時三十分衛前鎮ニ於テ左記命令ヲ受ク

聯隊命令 青十百午後九時三十分於金糸俣橋

一第三大隊ヨリ衛前鎮―新倉鎮ニ至ル間約半小隊ノ將

校行候ヲ派遣スヘシ

ニ服装ハ輕裝 殘敵敗廻 アルヲ以テ 無益ノ損害ヲ受ケ

サル様注意スヘシ

一直ニ関口少尉ヲ行候トシテ指令 旅團本部ニ差出レ九時三

十分出發ス

一午後九時四十五分衛前鎮ニ於テ左記命令ヲ受領ス

聯隊命令 青十百午後九時四十五分 於衛前鎮

一敵ニ就テ新報ヲ得サルモ附近ノ部落ニ敗殘兵生没シ在ル

モノ如シ

旅團別紙要圖ノ態勢ニ在リテ夜ヲ徹ス

0861

土曜
日

十月十三日

十月十三日午前四時左記命令ヲ受領ス

聯隊命令 十月十三日午前三時五十分於衙前鎮

二聯隊ハ現在ノ態勢ヲ以テ夜ヲ徹セントス

三諸隊第三大隊長ノ已所ヨリ警言備ヲ嚴ニシ夜ヲ徹ス

細部ハ大隊長指示ス

四余ハ現在地ニ在リ
下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

注意

一絶対ニ火ヲ附クカラス

二屋内ニ入ルハ危険ニ付危害ヲ防ニ注意スルヲ要ス

三努メテ兵力ヲ集結シ在ルヲ要ス

一小行李ハ衙前鎮南方一軒ノ部落ニ到着セル迄道路崩壊シ行
進危険ナルヲ以テ該地ニ露営セシム

位置衙前鎮

人員六五名 馬三一頭



0862

星

新倉鎮四

星橋附近ノ

戦斗

位置

星橋東南

方約二杆

一敵情及友軍ノ狀況ニ面師團作命甲第一号ノ如シ

二聯隊八本十三日早朝現在地ニ於テ新倉鎮ニ向テ前進セシ

トス

旅團八新倉鎮ニ兵力集結ノ爲早朝現在地ニ於テ新倉鎮

ニ向テ前進ス

旅團前進部署

前衛

本部隊行軍序列ノ如ク後方ニ本部ト巨離三〇〇米

諸隊午前五時三十分迄ニ現在地ニ在リテ出發準備ヲ完了ス

前進順序ヨリⅢⅡⅠヨリⅢ中隊 IMG RMG 12

三各隊ノ車輛八午前六時三十分各宿營地ニ於テ出發準備ヲ

整第十二中隊天川小尉(小隊)ノ指揮ヨリ第百五十聯

隊第百十五聯隊ノ順序ニ聯隊ノ後方近ク續行スヘシ

四余八暫ク現在地ニ在リテ爾後部隊ノ先頭ニ在リテ前進ス

聯隊長

矢々崎中佐

下達法

0863

各隊命令受領者ヲ集ム口達筆記セシム

注意

各隊ニテ未遑急部隊ハ逐次追及ノ事

二西師作命第十号ノ要旨ヲ四本部ヨリ閣ノ事
記録受領ハ為命令受領者出セ

命令受領ハ五時三十分ニ集合

一午前三時頃閉口申候中隊ニ復歸ス

一午四時丁集團情報ノ傳達ヲ受リ

聯隊長注意

一全般ノ状況ヲ能ク知ラシムルコトニ努ムルコト

一何時ニテモ命令受領シ得ル手段ヲ講シ置キヲ要ス

參謀長注意事項

一彈藥節約ノ件 行動ニ依リ敵ヲ退却セシムル事

一兵力ノ集結使用

一包圍ヲ迴攻ス

一指目ノ中ヨリ狙撃ヲニ注意

一地形地物利用 射撃火勢ニ注意

一近巨萬搜索

一火災予防

一馬糧ニ関スル件

右外、兵器、經理、軍醫、獸醫各部長ヨリ注意事項ヲ受テ

聯隊命令

午後四時

一車輛ヲ追及セシムル爲メ小隊ヲ殘置ス（第十ニ中隊ヲ）
直ニ旅團司令本部ニ至ル（シ）（天川少尉）

聯隊長注意事項

一皇后陛下ニオカセラレテハ陸軍軍醫學校模須賀海軍病院ニ行啓アラセラレ傷病兵ヲ御見舞アラセラレ
天皇陛下ニハ再ヒ出征將兵ニ對シ優渥ナル勅語ヲ賜ル
能ク一兵ニ至ル迄出兵ノ目的ヲ知ランメ我ハ皇軍軍人ナリ
意識セラルヲ要ス

其、他發發、敬告、支那人ニ對スル件等

0865

午前六時、前鎮出發、新倉鎮ニ向ヒ西進ス。午前七時、五分頃、天明トモレヤ、前方近ク、殷々ノ砲聲ヲ聞キ、前進シ、午前八時、三分、新倉鎮西側ニ到達ス。同時左記要旨、聯隊命令ヲ受領ス。

聯隊命令、要旨

午前八時、三分、新倉鎮

一、三七旅ハ、前面、敵ヲ攻撃中ナリ。

旅團ハ、新倉鎮西端附近ニ兵カヲ集結シ、爾後、進出ヲ準備ス。

二、第三大隊ヨリ、將校中候(三分隊)ヲ出シ、旅團進出ノ目的ヲ以テ、新倉鎮、西馬橋、道志家橋、平湖、道志、新倉鎮、四里橋、廣陣鎮(倉々)間ノ道路ヲ偵察スヘシ。

右命令ニ基キ、賀川少尉更ニ詳細ナル任務ヲ受テ、部下各隊ヲ並ビ勇躍出發ス。

一十二時、五分、西北方近ク、銃聲、シキリナリ。第十中隊ヨリ、各隊ノ中候ヲ派遣セルモ、得レ所ナシ。

一十時三十分小行李追及ス各中隊ニ彈藥四千三百ヲ發宛
ヲ分配ス

一佐藤少尉ヲシテ待期間ニ携行糧秣ノ現地調辦ヲ實
施セント主食ニ日分ヲ補充ス

一午前十時三十分ナニ日大平橋ヨリ秀平橋ニ至ル道路偵
察及砲兵掩護ニ任セラル淺川小隊追及ス其報章コレハ
十二日午後二時三十分頃秀平橋ニ至リ約百ノ敵ヲ攻撃シ
之ヲ西北方ニ數手退セリ

一大隊長注意事項

情

一幹部ハ能力部下ヲ掌握シ幹部以下状況中人

タレポート

一戰備 度前後左右ノ警戒

如何ナル場合如何ナル方向ニモ應ニ得ルヲ要ス

一命令、適確ナルニト

一午後二時半頃後方砲兵陣地附近ニ敵進撃ヲ砲彈

落下ス

一午後三時五分歩二五作命第ナニ号聯隊命令ヲ受領ス
一午後三時五十分^{出陣}準備ヲ完了待期ス此ノ間昨夜ノ會戦
事項敗兵ニ對スル^敵警戒火災防護戰中ノ方法
兵ニ状況ヲ知ラセハルヲ集結中ノ警戒戒嚴ニ關シ聯隊
長中隊長長ヲ集メ注意セアリ

一午後五時三十分大隊ハ連判順序小行奉^後方ニ^後隊形
ヲ以テ新倉鎮ヲ出發シ四里橋ニ向^リ二前方ヨリ敵彈
落下シ疎開隊形ヲ以テ前進シ午後六時三十分四里橋東
方約一軒ニ達シ待機ス四里橋東端附近ニ敵ハ頑
強ニ抵抗シ夜ニ入ルモ彼我ノ銃聲極^ニ盛ナリ

一午後九時旅團ノ直接掩護ニ任シ^ハ第九中隊高
橋一尋兵受傷ス今次出征後聯隊最初^{犠牲}

一午後九時三十分大隊副官ハ旅團司令部ノ位置ニ於テ
秋山旅團ノ一部ハ夕刻來趙家橋鎮附近ニ於テ優
勢ナル敵ト交戦苦戦ニ陷リ^{アリ}第三大隊(三小隊)ハ

速ニ之ヲ救援スヘキ旅團命令ヲ受ケ即時出發ヲ準備
セシムト共ニ副官ハ所要ノ雄兵ヲ伴ヒ連絡ノリト先
行中師團ヨリノ連絡將校ト遭遇シ状況及軍直轄某
部隊ヲ派遣セルヲ以テ互ハ出發ヲ中止スヘト一命
ヲ受領シ時四十分聯隊ノ位置ニ返還状況及右命
令ヲ報告ス

一此ノ間令井一等兵高木上等兵傳令トシテ危険ヲ
冒シ旅聯隊間ヲ數回往復シ奮斗ス
一午前一時左記命令ヲ下達ス 於四里橋東方一軒

大隊命令

一敵ハ未タ四里郷附近ヲ後退セズ旅團ハ拒力之ヲ
攻撃中主トシテ粟丘聯隊ヲ以テ今夜半ヨリ明朝
ニカケテ陣地ヲ奪取シ廣陣鎮ニ向ヒ前進ノ企圖
ヲ有ス
二大隊ハ現在集結體形ヲ以テ夜ヲ徹セントス

三、第十一中隊ハ軍旗、中隊第十一中隊ハ聯隊長、指示
セシ如ク旅團、直接援護ニ任シ、西側ヲ警戒スヘシ
特ニ中間、クリーク以西ト連絡、留意セヨ
九、十、兩中隊ハスヘテ、指示セル如ク警戒スヘシ
四、各隊ハ何時ニテモ直ニ應戰ノ準備、妥當カシルヘシ
五、糧秣ハ攜行セルモノニヨルヘシ、大隊本部ハクリークノ東
岸ニアリ

五、飯塚少尉ハ巡察將校トシテ、警戒ヲ嚴シ、夜ヲ巡視
監督スヘシ

下達法

命令受領者ヲ集メ、口達筆記セシム

一、斯クテ至嚴ナル警戒ヲ夜ヲ徹ス

一、本日以降、天川少尉ハ車輛監視部隊トシテ、大隊ヲ指
揮下ヲ當ル

本日現員

將校五 下士官兵六。計六五名

馬匹

三頭



0870

0871